2026 年 10 月 5 日作成（第 1.2 版）

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学呼吸器外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報および先行研究で収集した試料・情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025 年 9 月

福島県立医科大学医学部 呼吸器外科学講座　武藤 哲史

■ 研究課題名

肺癌患者における腫瘍浸潤リンパ球の多寡と関連する末梢血因子の探索研究

■ 研究期間

2025 年 9 月　～　2028 年 12 月

■ 研究の目的・意義

肺癌の治療には免疫チェックポイント阻害薬という種類の薬剤が広く用いられるようになりました。この薬剤の効果を予測するバイオマーカーとして、腫瘍組織における PD-L1 タンパクの発現率が保険診療で用いられています。しかしこの PD-L1 タンパクの発現率だけでは効果予測が十分でありません。一方、免疫細胞の一部であるリンパ球が腫瘍組織へ多く入り込んでいることが免疫チェックポイント阻害薬の効果と関連する、ということが以前から報告されています。しかしながら癌の一部を検査目的に採取する場合には、腫瘍組織へ入り込むリンパ球の多寡を評価できるほど十分な量の組織を採取することはできません。そこでわれわれは、腫瘍組織へ入り込むリンパ球の多寡と関連する血液中の因子を明らかにしたいと考えました。これにより免疫チェックポイント阻害薬の新たなバイオマーカー開発につながる可能性があります。

■ 研究対象となる方

先行研究 1「非小細胞肺癌における、腫瘍浸潤リンパ球と TLS、腫瘍免疫関連分子との関連　後ろ向き iTN」(倫理委員会承認番号:一般 30161）にご参加いただいている患者さんのうち 2011 年 1 月から 2016 年 12 月に当院で肺がんの手術を受け腫瘍浸潤リンパ球の評価が行われた患者さん、および先行研究 2「非小細胞肺癌における，腫瘍浸潤リンパ球の機能解析と腫瘍免疫関連分子との関係　前向き-iTN 」(倫理委員会承認番号:一般 30163)にご参加いただいている患者さんのうち 2018 年 10 月から 2019 年 9 月に当院で肺癌の手術を受けた患者さんが対象です。

■ 研究の方法

先行研究で収集した腫瘍組織および血液を用いて、腫瘍に入り込んでいるリンパ球の多寡と血液中のリンパ球との関係を解析します。また対象となる方の診療情報から年齢、臨床病理学的因子、治療内容、臨床検査値、治療後どのような転帰をたどられたか、などの項目についてデータを収集します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2025 年 10 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学呼吸器外科学講座であり、研究責任者は呼吸器外科学講座　武藤哲史です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長　鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学呼吸器外科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

行いません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先
〒960-1295　福島県福島市光が丘 1 番地
公立大学法人福島県立医科大学医学部呼吸器外科学講座　担当：武藤 哲史（事務局）
電話：024-547-1252　　FAX：024-548-2735
e-mail：smutoo@fmu.ac.jp